

Alan Turing

Artificial Intelligence Ex01 Report

S1250050 Tsuyoshi Kumamoto

概要

アラン・チューリング(アラン・マシスン・チューリング-Alan Mathieson Turing-)は、イギリスの数学者、コンピュータ学者であり、現在の人工知能(AI)の父と呼ばれるほど、コンピュータの発展に大きな貢献をした人物である。

チューリングマシンという独自の概念を用いて、現在のコンピュータの概念的原点を提唱した。

第二次世界大戦中は、ドイツの暗号解読をする仕事に従事した。

晩年はイギリス国立物理学研究所、マンチェスター大学と移り、1954年6月8日に自宅にて自殺した。

幼少期について

アランは幼少期からけた外れの才能を有していたとされている。

文字を読むことは3週間で覚え、数学系のパズルも難なく解いてしまうほどであったとされている。

また、16歳でアインシュタインの論文を「理解」し、それに加えその論文には記述されていなかったニュートン力学についても、アインシュタインの疑問点を外挿したという。

チューリングマシンの提唱

1936年に提出されたアランの「計算可能数、ならびにそのヒルベルトの決定問題への応用」を執筆し、チューリングマシンという独自の計算モデルを提示した。また、このチューリングマシンによって「決定問題」の解決に重要な貢献をした。

暗号解読者の一面

アランは第二次世界大戦中、ドイツの暗号を解読するイギリスの暗号学校でパートとして勤務した。そこでは主にドイツが使用していた暗号機「エニグマ」の解読をする仕事をしていった。ここでも彼は汎用的かつ安定的に解読するための手法を編み出し、イギリスの解読機「Bombe」に実装された。

最期

アランは1954年6月8日に自宅にて自殺した。死因は青酸による中毒死とされている。

出典・参考

Wikipedia -アラン・チューリング-

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%A2%E3%83%A9%E3%83%B3%E3%83%BB%E3%83%81%E3%83%A5%E3%83%BC%E3%83%AA%E3%83%B3%E3%82%B0>

世界の偉人館 アラン・チューリング

http://greatman.merrymall.net/ic04_02_05.html